

八王子3人殺害から15年

## 銃器犯罪根絶の集い

1995年7月、八王子市のスーパーで女子高生を含む3人が射殺された事件から、30日で15年。同市で23日、「銃器犯罪根絶の集い」

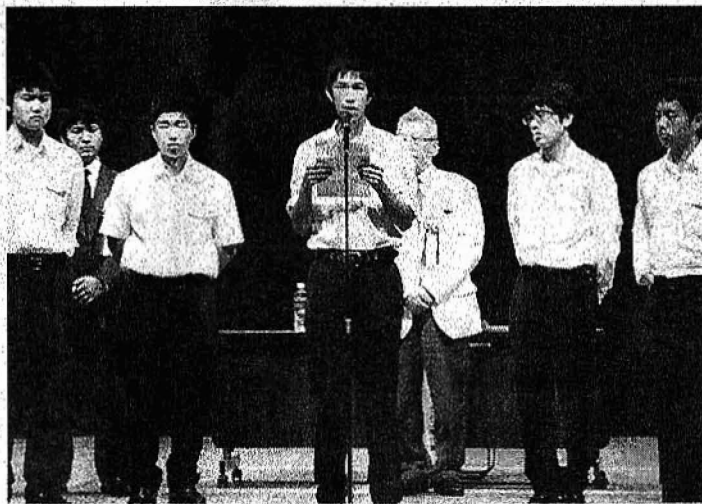
ゆず果汁

かぼす他茶液  
かぼす袖調味液  
(0088)  
21-1155

市橋の隣アスキー

(警察庁など主催)が開かれ、刑事訴訟法改正で時効が撤廃された同事件の解決に向け、情報提供を呼びかけた。

集いは95年に始まった。事件で亡くなった桜美林高校2年、矢吹恵さん(当時17歳)の同



級生、大越孝一郎さんが「銃犯罪根絶へ当事者意識を持ってほし

い」と訴えた。パネルディスカッションには、被害にあった都立館高校2年、前田寛美さん(同16歳)の担任だった渡辺拓美さんも参加。渡辺さんは、

前田さんの母親が事件後、学校のロッカーに張られていた名前シールさえはがして持ち帰ったことを明かし、「残された人はそれほどに辛い。それを伝えるのが僕の仕事」と述べた。米国留学中の息子を92年に射殺された服部美恵子さんは「(犯人が捕まらないままでは)家族は時間の一部が止まったまま。どんな情報でも寄せてほしい」と協力を求めた。

最後に桜美林高校2年、小池竜之介君らが「平和な社会を作り次の世代に引き継ぐことが(亡くなった)3人の生きた証になる」と銃器犯罪根絶を願うメッセージを読み上げた。写真。【齋浦遊】